

黒髪校区第四町内自治会自主防災クラブ(熊本県熊本市)

(構成：民生委員・児童委員、自治会員、老人クラブ会員、ひまわりクラブ(前身：婦人会)、その他団体員(趣味サークル団体))

《活動主体の概要》

総人口： 約1,650人(うち約1,000人が学生)

高齢者数： 230人

世帯数： 240世帯(このほか学生約1,000人の世帯が存在)

産業構造： 学園地域でアパート、マンション業が多い

地理的構造： 都市部で、人口密集地域である。

住宅地： コンビニ1軒、学生向け食堂4軒、豆腐店1軒、電気店1軒、バイク店1軒

高齢者施設： 老人ホーム3施設

活動のきっかけ

自主防災クラブとしての活動開始は、平成12年からである。

当時、平成7年発生の阪神・淡路大震災の検証結果がまとめられた頃で、生存者の95%は隣近所のつながりにより助かったとの分析結果が出たことから、地域ごとの防災対策の機運が高まり、消防署の声かけで結成し活動していくこととなった。

実際防災に取り組む際、どういう方に配慮しなければならないかという視点で考え、災害時要援護者マップを作成した。

見守り対象者がはっきりしていく中で、民生委員が見守り対象世帯へ声かけを行う際、きっかけがないと入りづらいといった声や、見守る側、見守られる側のどちらも気兼ねない見守りをしたいという思いを形にするため、資源回収を実施するようになった。また、当時、自主防災クラブとしての自主財源がなく、自治会費を一部流用する形で活動していたため、資金調達の意味もあった。

活動方法

結成後、最初に「災害時要援護者支援マップ」づくりに取り組んだ。地域には高齢者が多く、その中には一人暮らしの方が少

なくないため、会員がお互いに情報を持ち寄って作成した。

作成したマップから、校区内を縦横無尽に走る路地を調査し、緊急車両が走行できないほどの狭い道や、消火活動に必要な消火栓がない場所が確認できたため、電柱を移設し道幅を確保する工事を関係各所に依頼した。また、消火栓の設置が難しい地区は古くからあった農業用水池を消防水利に整備し環境を整えた。

こうした活動を経て、高齢者等の見守りを効果的に行うため、月2回資源回収を行っている。資源の出し方を見ることで、生活状況や安否確認ができています。

なお、集めた資源は回収業者へ持ち込んでいる。この売上金の他に、回収量に応じて熊本市から助成金が得られ、非常時に必要な食料や毛布、救援に必要な資機材をそろえている。

工夫点

活動開始当初、あまり隣近所の付き合いがなく、5つの同好会だけがある状況であった。趣味を通じた交流ができないかと考え、地域の方の趣味や特技を確認することからはじめていき、現在では20の同好会が存在するまでになった。

地域として助け合いの意識を高めるため、マップづくりは、会員の情報を集約して作成した。路地の整備では、会長自らが電柱移設工事に夜遅くまで立会い、地道な環境の整備を行った。

また、地域の中で見守る側、見守られる側のどちらも気兼ねない見守りをしたいとの思いから、月2回の資源回収の機会を活用し、集積場で住民同士コミュニケーションをとっている。

成果

取組みを通じて、地域としての助け合いの意識が高まり、それがまた次の活動につながっている。

見守りの観点では、資源回収の際、集積場が地域の老人憩いの家広場であるため、井戸端会議を通じて、地域の困りごと等が共有され、住民ができることを手伝うきっかけとなっている。

なお、資源回収による収入は年間約100万円で、自治会の活動資金を賄うことができている。

CO₂の排出量の削減にもつながり、環境貢献にもなっている。

課題

課題は2つある。

まず、この地域は、約半数は熊本大学の学生たちが住む“学生のまち”であり、今後は、大学生の力を取り入れて、いかに住みやすく、安全安心な町内をつくっていくかが課題である。

次に、自主防災クラブで把握している見守り対象者の情報を、個人情報のため、支援を行う関係者に出せない場合があることが課題である。

皆がこのまちに自主防災クラブがあって良かったと誇りに思ってくれていることが活動の原動力。

代表者、事業者等の声

「自分たちの地域は自分たちで守る」をモットーに活動を始め、定例の資源回収、見守り活動の他、登下校時の見守りあいさつ活動など今では10を超える活動を行っている。

どれかひとつの取組みがということではなく、ひとつひとつ取り組んできたことが、住民が安心して暮らせる地域をつくり、地域のつながりを強めていった。

皆がこのまちに自主防災クラブがあって良かったと誇りに思ってくれていることが活動の原動力。

今後は、高齢化が進む中、認知症の方の見守りが大切になってくる。こうした観点も含めて、ひとつひとつの取組みをさらに充実させていきたい。

その他

熊本市長感謝状受賞（H22.2.17）

熊本県知事感謝状受賞（H23.10.25）

第16回防災まちづくり大賞

（消防科学総合センター理事長賞）受賞（H24.3）

公益財団法人古紙再生促進センター理事長感謝状受賞（H27.6.10）